

◆帆苺謙治委員 今、上杉委員から、月岡温泉でのイベントの話がありました。ふだんはあまり出掛けないのですけれども、女房と子供と行ってきました。そうしたら交流企画課長がいて、かなり頑張っておられ、感動しました。開催費として1,000万円かけたのですよね。県が500万円、新発田市が500万円と。私は非常にいい企画だったと思っておりますし、当日は本当に車が入れないくらいでした。

しかし、私は課題があると思います。バスでピストン輸送をやっていましたよね。ピストン輸送するのもいいけれども、それを周知させること。それともう1点は、地元の観光協会とのコンタクトが少し不十分だったのではないかと。というのは、帰りに月岡温泉で少し飲んだときに、そういう話を聞いたので、参考にしてもらいたいと思います。

もう1点は、知事と新発田市長が出席するのは当たり前だけれども、県の主催なのだから、地元の県議会議員にくらい案内したらどうなのですか。例えば、農林水産部だと、「ふれあい畜産フェスタ」などではみんなに案内が届くでしょう。そういう部局によって違う対応では少し困ると思うのです。したがって、県の主催であるならば、地元あるいは所管の産業経済委員会の委員に声をかけるということが盛り上がりの大きな要素の一つだと思うのです。苦言を呈するわけではございませんが、セレモニーでも何でも知事と新発田市長の二人だけが出ていて、県議会議員はいないのかなと私は不思議に思ったのです。その辺をお願いしたいと思っておりますが、一連の話でコメントがありましたらお願いします。

◎武本清志交流企画課長 何点か御指摘いただきました。当日のピストン輸送と申しますか、シャトルバスの運行につきましては、車では来られないということは広報していたのですが、車で来られるかたもかなりいらっしゃったということで、かなり渋滞も起きましたので、これは今後の課題だと認識しております。

それから、地元との連携ということでございます。国際ご当地グルメグランプリ開催実行委員会の中には、地元の月岡温泉観光協会からも入っていただきました。私も当日、地元の月岡温泉の皆様とも話をいたしました。初回だったということですのですべてを片付けるわけではございませんが、もう少し連携を深めるためのいろいろな改善点はあるという話が出たところでございます。また、月岡温泉の足湯の場所に阿賀北ふるさとグルメフェスタということで併催していたのですけれども、これからまた新しく企画する場合に、そういったところとの連携等についても留意していきたいと思っております。

それから、委員の皆様がたへの案内ということでございます。これは大変申し訳ないと思っております。このグルメグランプリは入場無料で、ちらし等もぎりぎりまでできなかったという事情もございましたが、今後、気をつけてまいりたいと思っております。